



だれもが大切にされる学校 令和7年度 第11号3月5日

大庭小学校だより



HPはこちらから



船・灯台・星...



上の絵は学習指導要領改訂のポイントをまとめた資料の表紙の絵です。(すこし手を加えました)新しい学習指導要領は、人生100年時代や国内外のグローバル化の進展、生成 AI などのデジタル技術の発展などの社会の変化を見通して「**自らの人生を舵取(かじと)りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む**」を目指します。「人生を舵取りする主体としての**船**」と「それを導く**灯台**」としての学習指導要領が描かれているわけです。灯台の先にはきっと社会という海が広がっているのでしょうか。学習指導要領は、教育課程=カリキュラムの基準となり、時代に合わせおよそ10年に一回かわります。この学年のこの教科でこの内容をこのように教えて・・・ということが大まかに示されています。現在、中央教育審議会で改訂が話し合われており、令和8年度のうちは形が整う予定です。教科書の準備が必要ですので、すべて新しくなるのは令和12年、今の1年生が6年生になる時と聞くと、なんだ まだ先かと思えます。が、令和9年以降、教科書によらない部分は新学習指導要領で実施となるはずで、早ければ1年後ですね。

「自らの人生を舵取りできる」人を育てるには、どのような教育が必要でしょう。一つの答えは、本校で取り組んでいる自己選択・自己決定・自己評価を大切にする「**選ぶ学び**」です。ルーブリックを使った自分のペースでの学習、40分授業試行でおこなった必要な学びを自分で決定するチャレンジタイム、子ども自身の選択でコースを分ける算数など、学びのオーナーシップを子ども自身もつことが大切です。



ルーブリックを使って学習を進める1年生



6年生を送る会

「**民主的で持続可能な社会の創り手**」を育てるには、どのような教育が必要でしょう。それには、学校を小さな社会として自分たちで創っていくものという経験が大切です。再三申し上げている**誰もが大切にされる学校**です。先日行われた児童主体の6年生を送る会は、心温まる会でした。5年生が中心となって企画・運営をするのですが、その力はこれまでの学級会活動や国語をはじめ話し合う活動などが支えています。

こうしてみると、大きくは、本校教育の方向性は、時代が求める望ましい方向に向かっているようです。

小学校に長く勤めていると、「いろいろな子がいるな」「一人として同じ子はいないな」と思います。上の絵の**星☆**は、その多様な子どもたち一人一人を表しています。夢を実現するために、社会の未来を創るために、多様な一人一人が光り輝くための道筋を学習指導要領は指し示しています。子どもと同じで、どこにも同じ背景をもった学校はありません。地域性、児童数、歴史、教育資源が違う学校は、それぞれがその学校の子どもたちのために創意工夫した教育を行うことが求められます。40分授業試行のように、より学校の創意工夫が可能となる柔軟性も新学習指導要領の特徴です。



かけ算九九の学習サポート

とはいえ、多様な子ども一人一人に合った学習は理想ですが、実現するには学校だけ、教員の努力だけでは困難です。今年度は、九九の暗唱を聞いてもらうなどする家庭・地域の学習サポーターにたくさんのご協力をいただきました。来年度以降も、ぜひ、できる範囲で一人一人を見守り応援する活動にご協力ください。一人一人の船が目的地にたどり着くようみんな**風**を送り、子どもたちを「みんなで育み」ましょう。



※学習指導要領改訂ポイント資料はこちら↑